

## 日本整形外科学会 教育研修単位について

次頁の講演は、日本整形外科学会教育研修単位に認定されております。1セッションにつき、専門医資格継続単位1単位（N）、脊椎脊髄病医資格継続単位（SS）のいずれかを取得できます。

現地参加の方のみの受付となります。

### ○申込方法

学会当日、現地会場にて受講申込書に必要事項をご記入の上、受講料(1講演につき1,000円)を添えて、対象セッション開始10分前までに教育研修講演受付にてお申込みください。

### ○講演会場での手続き

必ずIC会員カードをご持参ください。

対象セッション開始10分前から開始10分の間、会場入り口にカードリーダーを設置いたしますので、IC会員カードをカードリーダーにかざし、出席登録を行ってください。セッション開始10分後、受講手続きが完了していない場合、または途中退場をされた場合には単位取得はできませんのでご注意ください。

### ○注意事項

- ・受講料の払い戻しはいたしません。
- ・教育研修講演受講のためだけに入場される場合にも、学会参加費をお支払いいただく必要がございます。学会参加者で単位を必要としない方の講演聴講は無料です。
- ・研修会受付システムのデジタル化に伴い、単位の必須分野番号を、研修会当日に選択することはできません。自動的に整形外科専門医必須分野の小さな番号の単位として付与されます。例) N1、N3、Rの複数分野から選択可能であっても、自動的に分野N1に割り振られます。

分野N3やRの単位を取得されたい場合は、開催日から1週間以降に、ご自身で単位振替システムを利用して、分野番号を変更していただく必要があります。

※ランチョンセミナー等のお弁当・軽食には個数に限りがございます。受講料のお支払いはお弁当・軽食の確保を保証するものではございませんので、予めご了承ください。

# 日本整形外科学会 教育研修単位取得可能セッション

11月4日(金)

---

11:00～12:00 第1会場 取得可能分野：N-3、N-7、SS

山田・井上メモリアルレクチャー

座長：高相 晶士（北里大学医学部整形外科学 主任教授）

「**dysplastic spondylolisthesis の整復固定と特発性側弯症の Short fusion について教科書から学び、その批評眼を持てー**」

演者：野原 裕（獨協医科大学名誉教授・流山中央病院名誉院長）

「**小児脊柱側弯症ー治療法改良の歩みと将来への課題**」

演者：鈴木 信正（メディカルスキニング東京脊柱側弯症センター センター長）

12:10～13:10 第1会場 取得可能分野：N-7、N-8、SS

ランチョンセミナー 1

座長：大鳥 精司（千葉大学整形外科学 教授）

「**側弯症手術療法の変遷**」

演者：南 昌平（聖隷佐倉市民病院整形外科 名誉院長）

「**術中脊髄機能モニタリング・現在までに開発された方法論で複雑な脊髄機能を確実に監視することが出来るのだろうか**」

演者：玉置 哲也（社会福祉法人愛徳会副理事長 / 和歌山労災病院名誉院長 / 和歌山県立医科大学名誉教授）

12:10～13:10 第2会場 取得可能分野：N-7、N-8、SS

ランチョンセミナー 2

座長：竹下 克志（自治医科大学整形外科 教授）

「**成人脊柱変形に対する後方矯正操作施行時の前縦靭帯断裂の機序と対策ー矯正手術の原理の理解と適切な骨切り術選択の重要性ー**」

演者：金子慎二郎（藤田医科大学脊椎・脊髄科 教授）

「**Surgical decision making, surgical planning and anticipated outcomes for adult spinal deformity**」

演者：Shay Bess（Director, Orthopaedics surgery, Denver International Spine Center）

12:10～13:10 第3会場 取得可能分野：N-7、SS

ランチョンセミナー 3

座長：柳田 晴久（福岡市立こども病院整形・脊椎外科 科長）

「**成人脊柱変形矯正固定術における前方支柱再建について考える**」

演者：福田健太郎（済生会横浜市東部病院整形外科 部長）

**「特発性思春期側弯症に対する Convex Rod Rotation Maneuver を用いた矯正固定術」**

演 者：寺井 秀富（大阪公立大学整形外科 准教授）

**13:30 ~ 14:30 第1会場 取得可能分野：N-7、N-8、SS**

**ランチョンセミナー 4**

座 長：海渡 貴司（大阪大学器官制御外科学（整形外科）准教授）

**「患者適合型カスタムガイドを用いた側弯症手術の現在地」**

演 者：佐々木寛二（聖隷浜松病院整形外科 部長）

**「新しい脊柱側弯矯正器（スクリューヘッド固定機構付デバイス）と患者適合型カスタムガイドの有用性」**

演 者：村上 秀樹（岩手医科大学整形外科 特任教授）

**13:30 ~ 14:30 第2会場 取得可能分野：N-7、N-8、SS**

**ランチョンセミナー 5**

座 長：高橋 淳（信州大学運動機能学教室 教授）

**「成人脊柱変形矯正手術のコツとピットホール」**

演 者：飯田 尚裕（手稲溪仁会病院整形外科 部長）

**「脊髄腫瘍摘出術のコツとピットフォール」**

演 者：小澤 浩司（東北医科薬科大学整形外科 教授）

**13:30 ~ 14:30 第3会場 取得可能分野：N-3、N-7、SS**

**ランチョンセミナー 6**

座 長：長谷川和宏（新潟脊椎外科センター センター長）

**「思春期特発性側弯症に対する最新の治療コンセプト：保存治療から矯正手術まで」**

演 者：渡辺 慶（新潟大学整形外科 准教授）

**15:20 ~ 16:20 第1会場 取得可能分野：N-7、SS**

**エキスパートセミナー 1**

座 長：宇野 耕吉（独立行政法人国立病院機構 神戸医療センター 院長）

**「思春期特発性側弯症診療の現状と課題」**

演 者：松本 守雄（慶應義塾大学整形外科 教授）

**「首下がり症候群の病態と治療」**

演 者：山崎 正志（筑波大学整形外科 教授）

**11月5日(土)**

---

**8:00～9:00 第1会場 取得可能分野：N-7、SS**

**モーニングセミナー 1**

座長：今釜 史郎（名古屋大学整形外科学 / リウマチ学 主任教授）

**「成人脊柱変形手術における合併症予防のための手術手技の工夫」**

演者：山田 勝崇（横浜市立脳卒中・神経脊椎センター整形外科 部長）

**「側弯症手術における合併症を防ぐための工夫～いつ、どのように手術すべきか？」**

演者：小谷 俊明（聖隷佐倉市民病院整形外科 副院長）

**8:00～9:00 第2会場 取得可能分野：N-4、N-7、SS**

**モーニングセミナー 2**

座長：米澤 郁穂（参宮橋脊椎外科病院 副院長）

**「私のPSO 一師から受け継いだ矯正と止血手技」**

演者：中尾 祐介（三楽病院整形外科 部長）

**8:00～9:00 第3会場 取得可能分野：N-7、SS**

**モーニングセミナー 3**

座長：井上 玄（北里大学整形外科学 診療教授）

**「脊椎手術における自己血輸血と自己フィブリン糊使用の実際」**

演者：谷口 優樹（東京大学医学部附属病院手術部、整形外科 特任准教授）

**12:10～13:10 第1会場 取得可能分野：N-7、N-8、SS**

**ランチョンセミナー 7**

座長：種市 洋（獨協医科大学整形外科学 主任教授）

**「脊椎インストゥルメンテーションにおけるダブルヘッド型椎弓根スクリューという  
選択肢」**

演者：船山 徹（筑波大学整形外科 講師）

**12:10～13:10 第2会場 取得可能分野：N-7、N-8、SS**

**ランチョンセミナー 8**

座長：金村 徳相（JA 愛知厚生連 江南厚生病院 副院長・脊椎脊髄センター長）

**「脊柱変形における脊椎手術支援ロボットの実際」**

演者：赤澤 努（聖マリアンナ医科大学整形外科 教授）

**12:10 ~ 13:10 第3会場 取得可能分野：N-7、N-8、SS**

**ランチョンセミナー 9**

座長：中村 直行（神奈川県立こども医療センター 肢体不自由児施設長兼整形外科部長）

**「思春期特発性側弯症に対する Selective Thoracic Fusion- 良好な三次元矯正のための工夫 -」**

演者：松村 昭（大阪市立総合医療センター整形外科 副部長）

**「The sagittal plane in idiopathic scoliosis — Current concepts in surgical treatment —」**

演者：Ryan Goodwin（Section head, Orthopaedics surgery, Cleveland Clinic Children's）

**13:20 ~ 14:20 第1会場 取得可能分野：N-7、SS**

**エキスパートセミナー 2**

座長：岩崎 幹季（大阪労災病院 副院長・整形外科部長）

**「思春期特発性側弯症の胸腰椎・腰椎カーブに対する前方矯正固定術」**

演者：種市 洋（獨協医科大学整形外科 教授）

**「成人脊柱変形治療の10年を振り返って —後方骨切りの必要な症例とは—」**

演者：松山 幸弘（浜松医科大学整形外科 教授）